

教科研修マネジメントⅠ・Ⅱ について

1 研修目的

- (1) 所属する学校の課題解決に直結する授業改善計画や校内研修の工夫・改善を図るための理論研究及び実践研究を行い、その成果を報告書等にまとめ学校現場へ還元する。
- (2) 教科研修マネジメント研修を通して、ミドルリーダーとしての資質の向上を図り、所属校の課題解決に積極的に対応できる人材を目指し、効果的な校内研修を企画・運営できるコーディネーターとしての力量を高める。
- (3) 教科の枠を越えた学校全体における学習指導要領に対応した授業改善計画の工夫に取り組み、所属校の活性化と発展に資する。

2 応募資格

応募者は、募集要項の要件に加え、所属する学校の課題解決に直結する授業改善計画や校内研修を行い取組を還元できるミドルリーダー（学校代表）であること。

3 研修内容

- (1) 研修は、教科・領域に関する研修のほか、学習指導要領に対応した学校全体における授業改善・校内研修の工夫に繋がる内容を含む。

①長講座受講	必修講座・選択講座の受講 *1年研修は前期までとする。
②理論研修	学校全体の課題を解決する視点に立つ授業改善に向けた理論研究を行う。
③検証	所属校にて授業・校内研修を実施し、検証を進めていく。 ○理論研修の内容の実践・検証。 *所属校における年間計画に校内研修を位置付ける。
④成果物作成	学校全体の課題解決の視点に立った授業改善に関する成果物を作成する。 また、作成した成果物を校内研修で活用し、研究の共通理解や深化を図る。
⑤報告書の作成	研究成果をまとめた研究報告書の作成。 6ヶ月研修（8月） 1年研修（2月）
⑥研究報告会	6ヶ月研修（9月） 1年研修（3月）に実施。

- (2) 研究テーマ

研究テーマの設定については、学校現場に還元できるテーマとし、次の「指定テーマ」か「任意テーマ」のいずれかとする。

① 指定テーマ

教科の枠を越えた学校全体における学習指導要領に対応した授業改善計画・校内研修の工夫。

② 任意テーマ

応募者が設定するテーマである。テーマ内容によっては変更を求める。

- (3) 研修スケジュール（例）

6ヶ月研修 （教科研修 マネジメントⅠ）	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	研修計画検討会 テーマ検討会	理論研究 中間検討会	理論研究 学校で検証	学校で検証 報告書作成	報告書作成 プレゼン作成	報告会
1年研修 （教科研修 マネジメントⅡ）	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	研修計画検討会	検証方法の 検討第1回 検討会	理論研究 学校で検証	理論研究 学校で検証	学校で検証	学校で検証
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第2回検討会	第3回検討会	成果物作成	報告書作成	報告書作成 プレゼン作成	報告会

4 留意点

応募時に、学校で作成した今年度の校内研修計画書（様式の指定なし）を添付すること。